

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

# F-FACT

ファクト》Fukui advanced companies' try



【特集】 長寿企業に学ぶ  
～永続のコツを県内長寿企業に訊く～

vol.18

# 長寿企業に学ぶ

～永続のコツを県内長寿企業に訊く～



まえかわ よういちろう  
寄稿 前川 洋一郎 氏

全国的に見ても長寿企業の多い福井県。数多くの企業が老舗として創業後100年以上、概ね3代以上にわたって、今日も地元の信頼を得続けています。今回の特集では、老舗ジャーナリスト前川洋一郎氏の著書にある、永続経営のポイントになぞらえ、県内の長寿企業の取り組みやその背景にある企業としての理念・思いに迫りました。冒頭では前川氏に県内企業へのメッセージをいただきました。事例企業の記事と併せて、自社の永続への参考にお読みいただければ幸いです。

## 「老舗」に学ぶ 「永続の秘訣」

### 長寿して老舗となる 秘訣は

宣伝広告で、歴史地理で、物語ドラマで、「老舗」というワードは巷にあふれています。老舗の数は帝国データバンク（以下TDB）の調査では約27,000社（2014年8月時点）。しかし筆者の調べ、各地商工会議所のデータ及びTDBの老舗輩出率（その地域の企業数における老舗の割合）全国平均1.89%から試算すると、未公開の中小同族を含め全国でおよそ10万社も存在すると考えられます。

起業・創業からどうして100年永続するのでしょいか。老舗になってからさらに200年、300年と生き残るのはどうしてでしょうか。

その要因は大きく分けて、図①「老舗の形体」のように、マクロ要因（政治経済体制、天変地異など）、地域要因（地産地消など）、マネジメント要因（顧客、取引先、イノベーター）

シオン、多角化、第二創業など）、ヒューマン要因（先祖親戚、後継者、労使、企業家精神など）の4つ。そして、家系・家訓・秘伝など外からみえないDNAのような背骨です。これらがプラスに作用して追い風となるか、マイナスとなって足を引っ張るか、いやもつといえどどのように活かすか、で栄枯盛衰は決まるのです。

筆者はこの10年間、全国750社の老舗を巡回し、内371社のトップと面談してきました。日本は老舗大国といわれるだけに古今東西、秘訣については暖簾、家訓、立志伝、名物名産などのシンボリックな面が強調されてきました。これでは、表面的な心地よい耳学問に終わります。そこで、4つの要因と背骨について、現場の実学と現代の経営学を橋渡しする「老舗学」として体系づけ、テーマエトホンネ、短期と長期の視点の違いを分析しました。結果、老舗となる秘訣「戦略」10章とそのヒントとなる「戦訓」20則を、拙著「なぜあの会社は100年も繁盛しているのか」（発行：PHP研究所）

### 200年、300年と 長寿するのに大切なことは

その中でも、会社・商店としての「暖簾」というか今はやりの「ガバナンス」をしつかりすることが大切です。今のままでよければ伝統を保守し、不易に徹する。世が変わるとみれば新規に革新し、流行に乗るのです。この保守と革新を舵とりし、「形体」を

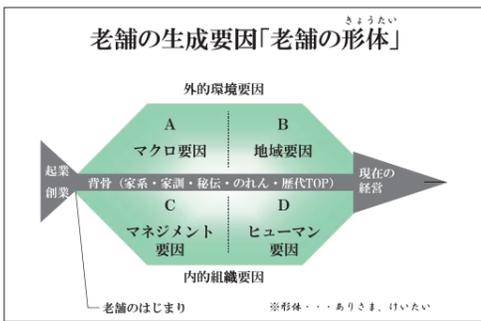
継承していくことが「守成」です。

NHK朝ドラのモデルで話題となっていた近世浪速の豪商加島屋、続く戦後現代の大同生命をみても図②の通り「形体」のくりかえしです。米屋から両替屋、そして炭鉱、銀行、紡績、今は生命保険です。400年近い社史の中で5つの形体をくりかえし、今日も見事に繁盛しています。

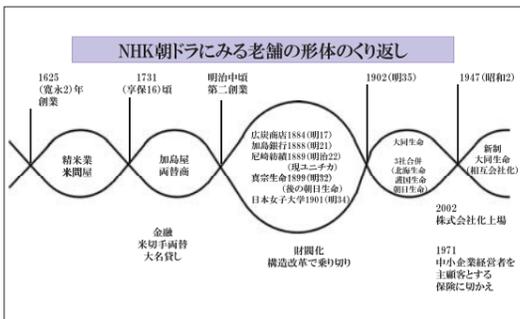
### ところで、北陸・福井の老舗はどうか

企業はどうしても人口、経済に比例して大都市に集中しますが、老舗は違います。都道府県別の数では、やはり第1位の東京につづき大阪、愛知、京都、新潟の順が多い。しかし先述の輩出率では、1位京都4.00%、2位山形3.91%、3位島根3.72%、4位新潟3.69%、5

ここで輩出率と民力水準の相関をみると、図③の通りおもしろい結果がでてきます。



図①：老舗の生成要因「老舗の形体」



図②：NHK朝ドラにみる老舗の形体のくり返し

### 福井の企業への期待、メッセージ

今日、国あげて人口減、少子高齢化、東京一極集中に対して一億総活躍、地方創生が叫ばれています。地方が元気になるために、ベンチャー開業率の上昇や公共投資の拡大ももちろん大切ですが、現にある企業の永続繁盛が何より大切です。大きくなくてもよい、有名でなくてもよい。永年にわたり納税、雇用、新規開発、地元貢献を続けることが地方の足腰となり、他所へのアドバランとなりまます。老舗の形体、守成には経営の根本と

図③：府県別老舗の輩出率と民力水準の相関

輩出率	順位	一人当り民力水準
4.00%	1	福井 127.8
3.91%	2	山梨 126.2
3.72%	3	東京 125.9
3.69%	4	富山 124.4
3.33%	5	島根 122.7
3.21%	6	岩手 120.7
3.16%	7	長野 119.2
3.00%	8	石川 119.0
2.84%	9	徳島 118.6
2.72%	10	鳥取 117.0
2.67%	11	山形 116.3
2.60%	12	秋田 115.7
2.58%	13	高知 111.3
2.56%	14	香川 111.2
2.54%	15	山口 109.3

以下 省略

#### CONTENTS

- 01 特集 長寿企業に学ぶ  
～永続のコツを県内長寿企業に訊く～  
・イントロダクション  
寄稿：前川洋一郎氏  
・企業事例  
カラヤ(株)／儀形原商店／職大次郎／職コバード  
・福井のロングライフデザイン  
「定番を守る企業理念」事例企業7社  
11 完成への道のり 井上リボン工業(株)
- 13 福井が生み出す技術のシーズ
- 14 福井のストグ技！探訪 福(株)こころぎ社
- 15 「第3の目」の使い方～コンサルティング活用のおススメ～
- 18 脱ITオンチ経営
- 17 飛躍する経営者たち 吉村 明高氏 儀シアターハウス
- 18 グッドデザインシンキング
- 19 今月の社是
- 20 インフォメーション 他

カラヤ株式会社  
 http://www.karaya.co.jp/  
 所在地：越前市中央2-6-5  
 電話番号：0778-22-2109  
 代表者：山本 仁左衛門氏  
 資本金：9,600万円（グループ合計）  
 従業員数：175名（グループ合計）  
 事業内容：鋼材・二次製品販売加工、建設資材・機械器具・機械工具・水道用品・一般金物の販売、建築・土木工事設計施工、冷暖房設備設計、家庭用品小売、建設機械リース



「日本型理念経営」

目先の利益よりも長期目線の安定経営を心がける。  
 永続取引、組織尊重、人本尊重など日本的な価値感を大切に。

「3歩進んで2歩下がる」  
 堅実経営で創業150年

カラヤ株式会社

県内長寿企業の一つとして、創業150年という区切りを迎えるカラヤ株式会社を紹介いたします。越前市内で金物店として創業し、「鉄」という軸から揺れることなく事業領域拡大を進めてきた同社。「3歩進んで2歩下がるくらいがちょうどいい」と地に足のついた経営を心掛ける代表取締役・山本仁左衛門氏に、長寿企業の眼目について伺いました。

鉄鋼、建設資材、水道機材など、鉄にまつわるジャンルでの展開を見せます。

経営には売り上げ目標という数字が付きものですが、山本氏は「数字だけを追わないこともまた大切」と強調。「創業150年」という区切りを迎えることもあり、年間売上高150億円を目標にはしていませんが、目標とノルマとは違うというのが自分の考え方。目標は各営業拠点の努力で達成できる現実的な数字であるべきです。無理な数値設定は、社是や社員訓を踏み外した行動につながりかねないからだといえます。

同社の営業所は現在、福井市・越前市・敦賀市・小浜市内に計9カ所。現実に即した数値目標を設定していること

「人なくして企業なし」で  
 時代の荒波乗り越える

明治の初め、同市蓬萊町の「蔵の辻」地区で金物店として創業した同社。泉州堺（現・大阪府堺市）で中国・韓国の貿易品（唐物）を扱う店が前身に当たるといい、「カラヤ」という屋号の起源にもなっています。

現在の基礎を作ったのは、現社長の父である先代の仁左衛門氏。昭和30年代から40年代にかけての高度成長期の土木・建築ラッシュを契機に、飛躍を遂げることになりました。金物だけでなく、針金や波板、水道用のパイプ、ドライバーなどの工具など鉄関連製品を手広く扱うようになり、福井市や敦賀市、小浜市へと営業拠点の拡大が進みました。さらに、建設・土木から派生した冷暖房設備の設計や建設機械のリース業務を手掛けるなど、幅広く事業を展開するようになったのです。しかし、山本氏は「高度成長期以降、ここまでの道のりは順風満帆ではなかった」と振り返ります。昭和20年代初めの戦災や震災などでは直接

「飛び上がらない」が  
 長寿企業の眼目と強調

もあり、営業拠点内のコミュニケーションが良好なことが直接、拠点自体の業績向上につながることも。「地域密着型で拠点を増やした経緯もあり、会社全体の従業員規模からすると拠点数も多く、各拠点の従業員数も5人から20人程度です。『効率が悪いのでは』という見方もされますが、小規模だからこそそのメリットもあるのです」

### 社員訓

感謝報恩 — 諸恩人から受けた無形の借財の返済に務めよう。

率先開発 — 時の流れに注意し、営業の合理化と、商品の開発に励もう。

明朗闊達 — まず心身の健康をはかり、毎日を明るく、楽しく、有意義に送ろう。

カラヤグループ

### 社 是

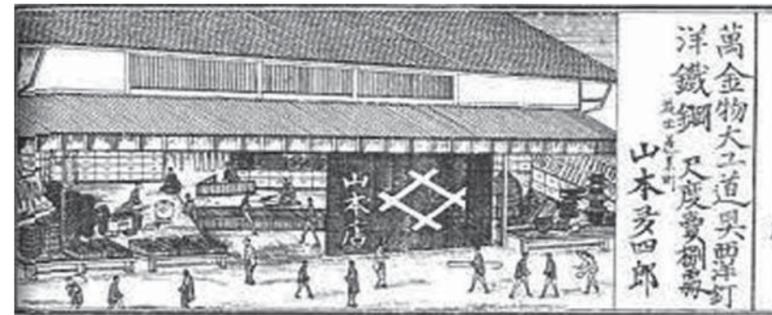
自ら品性の陶冶に錬み、健全な身体で、企業活動を通じ、道義社会の建設に邁進せよ。

カラヤグループ

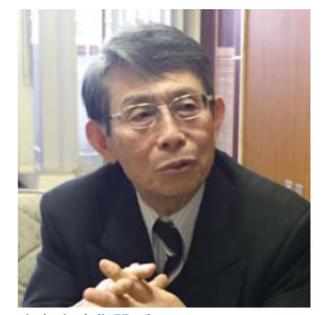
これまでの展開について「時代を先読みしての展開というより、時代の要請・必然性に合わせて事業を広げていった」と振り返る山本氏。「老舗になるには『飛び上がらない』という考えが大事ではないでしょうか。良い時・悪い時は表裏一体です。同業他社が調子良く見えるという焦りてしまいがちですが、『よそはよそ、うちはうち』とおおらかに構え、一発稼ぎに飛びつかないような経営を進めたのです」と誓います。

無理な数値目標を掲げず  
 社是や社員訓を守り抜く

その方針は「自ら品性の陶冶に錬み、健全な身体で、企業活動を通じ、道義社会の建設に邁進せよ。」という社是や「感謝報恩」率先開発「明朗闊達」の三本柱からなる社員訓に表れています。「例えば『感謝報恩』の実践では、社員一人一人に、日々仕事を終える時に『周囲に対し、今日の自分は正しい判断や動きをしたか』と振り返りをするよう課しています」



山本家のルーツ。明治20年7月発行『福井県下商工便覧』より。



山本 仁左衛門氏

株式会社杉原商店  
 http://www.washiya.com/  
 所在地：越前市不老町17-2  
 電話番号：0778-42-0144  
 代表者：杉原吉直氏  
 資本金：1,000万円  
 従業員数：6名  
 事業内容：和紙の企画、製造、販売、用途開発

振り返ります。続く転機となったのは、2002年に東京で開かれたインテリアの国際展示会「IP EC」への参加です。越前和紙を使った立体的な間接照明やオブジェが高く評価され、初出品で奨励賞を受賞しました。また、同時に、ドイツ人デザイナー「ヨルグ・ゲスナー氏が和紙の研究のため来日し、同社を訪問。杉原氏が企画した越前漆器と越前和紙を融合させた『漆和紙（うるわし）』を使って、ゲスナー氏は立体的なデザインを創作。2010年に、



新技術「DECO-WASHI デコ和紙」のメッセージカード。裏面は平らになっており、文字を書く際にもストレスを感じません。

## 「進化変身経営」

世の中の移り変わりを上手に汲み取り、時代に合わせた自主的な変化をする。

# 越前和紙の歩みとともに時代に合わせて進化する

株式会社杉原商店

越前和紙の紙問屋として、和紙の豊かさを世界に伝える株式会社杉原商店。江戸時代には紙漉きを手がけ、1871年に卸売業に業種転換。職人の技や個性を生かした越前和紙の企画から製造、販売、用途開発まで幅広く手がけています。伝統を受け継ぎながら時代に合わせて変化する越前和紙の歩みと、それを支えてきた自社の挑戦と進化について、社長であり和紙ソムリエを務める10代目 杉原吉直氏に伺いました。

### 木版から活版、さらにインクジェット対応へ

約1500年もの歴史を誇る越前和紙。その長い歩みの中で、木版から活版へ印刷技術が移行した明治時代は、特筆すべき転換期でした。「江戸時代まで、越前和紙には紙座<sup>(※)</sup>があり、幕府の手厚い庇護を受けていましたので、和紙を作るだけで職人は生きていけました。しかし、明治になると洋紙が普及し、従来のやり方では産地が成り立たなくなるほどの危機に直面したんです」と語る杉原氏。そうした状況の中、同社は1871年に越前和紙の製造から卸売業に転換し、杉原商店を創業。「越前和紙の生き残りをかけた、新しい技術に対応する和紙づくり」を提案します。その反響は大きく、販路は国内へ広がり、戦前には東京に事務所を構えるまでになりました。

時代は移り21世紀、越前和紙を取り巻く状況は「創業当時に匹敵するほどの激動期」と杉原氏は言います。スマホをはじめとする情報端末の普及で、ペーパーレス化が急速

### 伝統と革新を繰り返す人と技を未来へつなぐ

「すべて後押ししてくださった方がいたからできたこと。人とのつながりに感謝しています。」

同社が提案する越前和紙は、東京六本木ヒルズの『森タワー』のインテリア、フランスの高級ブランド『ゲラン』のウインドー装飾などにも採用され、国内外で販路を拡大しています。



ゲランのウインドー装飾。ヨルグ・ゲスナー氏が制作に当たりました。

に進行。杉原氏はインターネットが普及しはじめた2000年頃、「紙見本をバラまいて注文を待つ」という従来の紙問屋のあり方に危機感を抱き、提案型への脱却を図りました。そのとき手がけたのが、インクジェットプリンタ対応のオリジナル商品『羽二重紙』です。

### 平面から立体へと進化 越前漆器との新商品も

「羽二重紙」は表と裏で色と質感が異なり、両面に印刷できるリバーシブルの越前和紙です。

「僕自身パソコンを使っていて、インクジェットプリンタで印刷できる和紙がほしかった。こんな紙にしたいと考え、地元の職人さんに相談して作りました」。こうした挑戦は、約50軒もの紙漉き業が軒を並べる越前和紙の里で、職人の個性を知り尽くした杉原氏だから実現できたもの。新しい和紙ができた手応えを感じましたが、「最初はなかなか売れなかった」と当時を

「僕は『つなぐ人』。最新の情報や国内外の生の声を職人につなぐとともに、越前和紙の紙漉きの技や現場を世界に発信していきたい。元気な若い職人が育っているのです、越前和紙を未来につないでいけるよう、これからも新しい挑戦をしていきたいですね」。

その一方で、「最近では、目先



歴史の風情を感じる社屋の前で。



独特の色あいが特徴の漆和紙（うるわし）



杉原 吉直氏

「どんな時代も新しいものを取り込まないと生き残れない。平安時代は鳥の子、江戸時代は奉書、需要に応じていろいろなものを作ってきたから、越前和紙は今に残っているんだと思います」。

伝統を守りながら革新を繰り返す、同社は越前和紙とともに、さらなる進化を目指します。



小林 将男氏

## 「駅伝タスキ経営」

## 株式会社コバード

企業の永続は事業承継が鍵となる。DNAである理念を引き継ぐ工夫を。

### 発明を企業経営の背骨に 明文化と浸透で次代に継承

食品製造機械の開発製造・販売で業界に名を馳せる同社。中でもパン生地にも具材を包む包あん成形機は世界シェア95%を誇り、看板商品のマジックハンドは手包みを超える仕上がりととも言われます。株式会社コバード会長の小林将男氏に、ここまでの成功への道筋と今後の企業の永続への取り組みについてお聞きしました。

「77歳の今でも福井県発明協会の会長を務め、同社の開発する機械の全ては小林氏のアイデアが元になっています。そんなアイデアの数々を、特許」という形で守り固めてきたことも、成功に繋がっています。

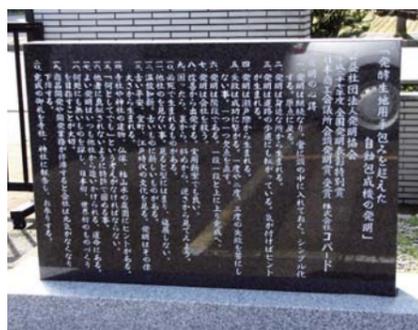
「中でも材料には良いものを、ということは父や祖父の代からもよく言われてきました。少々原価が上がっても味を落とさないことが最優先です。良いお菓子を作ったならば、そのスタイルは変わりません」と4代目の高橋厚至氏は話します。

「最初に羽二重餅用のマシンを開発した1971年当時から特許取得には先がけて力を入れてきました。保持するだけでも莫大な費用が掛かりますが、これがあってこそ生き残ることもできました」。現在200件を超す特許を取得している同社。特許により知的財産を守ること、価格での勝負に巻き込まれることなく、利益を次の新商品開発に活かす好循環が生まれたといえます。

「指針として浸透するよう、毎朝の朝礼で、全社員で唱和しています」と小林氏。企業のトップとしての思いを社内にも明瞭に示すことで、生きた経営理念として社内に根付いているようです。

「この店がなくなると困る人もきつというはず。先代の教え通り、まずは続けていくことです。地域のためにも残っていかねばと思っています」。

株式会社コバード  
http://www.kobird.co.jp/  
所在地：坂井市春江町藤鷲塚36  
電話番号：0776-51-5100  
代表者：小林 将男氏・小林 博紀氏  
資本金：8,500万円  
従業員数：106名  
事業内容：食品自動機械の開発、製造、販売



発明の心得を石碑に残しています。



パン用包成機マジックハンドMH-4

### 発明の継続で多品種展開 特許取得での守りも

落雁など押し型菓子用の木型彫刻をしていた、同社の前身である小林京鳳堂。3代目として2年弱、木型製造を行うも「時代の流れで売れなくなってきた」と当時を振り返ります。食品機械製造へと大きな転換点を迎え、第1作目として羽二重餅用の製造機械を世に送り出します。その後、現在に至るまで、和菓子、洋菓子、惣菜、パン、米飯の5つを事業の主な柱とし、機械方式やジャンルを徐々に増やしてきました。「どこにもないものを探して、世界で初めてのものづくりをしてきたこと、多品種の開発を続けたことで、時代に関係なくコンスタントに売り上げを保つことができたことが、これまで続けてこれた要因です」と話します。

### 発明への思いを明文化 次世代への浸透・継承

「お客様から味が変わったと言われぬように、変えるときは一気にはせず徐々に。以前は皮がおいしいと言われていた六方焼も、近頃はあんこがおいしいという声が多くなった気がします」と高橋氏も手ごたえを感じています。

「お客様から味が変わったと言われぬように、変えるときは一気にはせず徐々に。以前は皮がおいしいと言われていた六方焼も、近頃はあんこがおいしいという声が多くなった気がします」と高橋氏も手ごたえを感じています。

「お客様から味が変わったと言われぬように、変えるときは一気にはせず徐々に。以前は皮がおいしいと言われていた六方焼も、近頃はあんこがおいしいという声が多くなった気がします」と高橋氏も手ごたえを感じています。

## 「暖簾資産経営」

## 株式会社大次郎

暖簾に込められた理念を大切に、価値をさらに高め守る工夫や努力を怠らない。

### 暖簾に込められた理念を指針に その価値を守り育てる

高浜町の古街道に1905年から暖簾を掲げ、110年もの長きにわたりお菓子作りを続ける株式会社大次郎。看板商品にもなっている「六方焼」は手土産やお茶請けとして地元高浜で愛されているのはもちろん、敦賀や福井などから買いに来るファンもいるほど。暖簾に込められた理念を守り、永続する同社の取り組みを社長の高橋厚至氏に伺いました。



高橋 厚至氏

### 初代の言葉を守り伝え 味の伝承に活かす

「中でも材料には良いものを、ということは父や祖父の代からもよく言われてきました。少々原価が上がっても味を落とさないことが最優先です。良いお菓子を作ったならば、そのスタイルは変わりません」と4代目の高橋厚至氏は話します。

「お客様から味が変わったと言われぬように、変えるときは一気にはせず徐々に。以前は皮がおいしいと言われていた六方焼も、近頃はあんこがおいしいという声が多くなった気がします」と高橋氏も手ごたえを感じています。

### 小さな改善で現状維持 事業承継、継続への思い

「お客様から味が変わったと言われぬように、変えるときは一気にはせず徐々に。以前は皮がおいしいと言われていた六方焼も、近頃はあんこがおいしいという声が多くなった気がします」と高橋氏も手ごたえを感じています。

「お客様から味が変わったと言われぬように、変えるときは一気にはせず徐々に。以前は皮がおいしいと言われていた六方焼も、近頃はあんこがおいしいという声が多くなった気がします」と高橋氏も手ごたえを感じています。



ショーケースを新しくし、明るくスッキリとした印象に。



株式会社大次郎  
http://www.eonet.ne.jp/~daijirou1905/  
所在地：大飯郡高浜町青11-17  
電話番号：0770-72-0308  
代表者：高橋 厚至氏  
資本金：500万円  
従業員数：8名（パート含む）  
事業内容：菓子製造・小売

## 紙巻和ろうそく

株式会社小大黒屋商店(福井市)



風に強い和ろうそくに和紙を巻くことで、さらに炎が消えにくく改良されたのがこの商品。今まで長きにわたり当社が在り続けるのは、信仰の篤い福井県民の生活に仏教文化が息づいているからと話す7代目の大津竜一郎氏。その一方、現代のライフスタイルに適した新しい提案にも積極的。3Dプリンターでの試作により完成した「ANDON」などの新商品も販売されています。

**【理念】**  
あかりと香りの文化と伝統を守り育てる

## 小鯛の笹漬け用の小樽

吉田桶樽商店(小浜市)



1901年に生まれ、地元若狭の名産品となった「小鯛の笹漬け」。この名産品の登場により、依頼を受け作られ始めた小型の樽です。国産杉の樽は、保存容器として適度に水分を調整し、鯛に杉の香りを付け風味を引き立てる役割があります。時代が求める安心・安全と高級感を兼ね備える小樽を作り続けてきたことで、現在では全国に販路を広げている会社です。

**【理念】**  
美味しいものをさらに美味しく  
高級なものをさらに高級なものに

## Bブロック

株式会社ジャクエツ(敦賀市)



小型のブロックしか存在しなかった当時、園児が安心して遊べる、握りやすい大型のブロックを開発した会社。1966年の発売から50年たった現在でも、割れにくい素材への改良や色の調整などを重ね、年間5,000セットを売り上げているヒット商品です。子どもたちの心やからだ成長する大切な時期に役立つように、100年以上の努力を重ねてきた会社の理念がたもととなり定番商品となっています。

**【理念】**  
おさな子の事ならすべてのお手伝いを  
おさな子の為に最良のものを  
おさな子の為に基準となることを

## 福井のロングライフデザイン 定番を守る企業理念

長きにわたる長寿企業の経営は、その背骨となる理念によって支えられているといえます。そしてまた、その理念により生まれた商品には、定番となり長く愛されているものが多く存在します。ここでは、福井県民の日常の暮らしに寄り添う定番商品を通して、それらを作り続け、守り続けてきた企業の思いや理念をご紹介します。

〔ご紹介する商品は、昨年鯖江市で行われた「福井のロングライフデザイン展」からのセレクトです。〕

## 蘭麝酒

青木蘭麝堂(福井市)



戦国大名朝倉氏ゆかりの家伝酒である「蘭麝酒」。400年以上を経た現在も、一子相伝の薬味酒として健康維持に愛飲されています。酒造りは一家総出で行われ、十数種類の生薬を調合する工程は、ただ一人によってされています。この長い歴史に育まれた伝統は、品質保持と次世代への継承を守っています。

**【理念】**  
一子相伝の製法、家と酒は一体

## 羽二重餅

株式会社羽二重餅總本店松岡軒(福井市)



福井の代表的な銘菓である羽二重餅。1905年に松岡軒の2代目店主、淡島恒氏が羽二重餅を考案し、命名したといわれています。パッケージには発売当時から織姫とともに、中央には織物を織る際の経糸に緯糸を通すのに使われる杼と呼ばれる道具が描かれ、福井の繊維業の礎を築いた絹織物「羽二重」への思いと歴史が込められています。

**【理念】**  
創業者の精神「おいしさは真心」

## 水ようかんのパッケージ

有限会社えがわ(福井市)



福井県民にはお馴染み、冬の風物詩である水ようかん。定着し始めた大正時代には木製の容器に始まり、1955年頃からは、現在にも続く紙パッケージになりました。どこにも無いオリジナルカラーをと赤色を採用。確固たる現在の江川ブランドにつながります。ここ数年は地方発送にも力を入れており、それに対応する密閉パッケージが登場するなど進化を続けています。

**【理念】**  
食べる人の身になって真心こめておいしい菓子を

## かにめしのパッケージ

株式会社番匠本店(福井市)



かにの形をしたお馴染みの愛らしいプラスチック容器。全国駅弁でもトップブランドの「越前かにめし」は古くから福井の顔として親しまれてきました。以前は鼻のあたりに穴があり、中の蒸気を逃がす役割を担っていましたが、蒸気による加熱滅菌のために現在は穴がなく密閉度も増しているよう。おいしさはもちろん、顧客の安心や健康を真剣に追求する会社です。

**【理念】**  
事業理念「おいしさ真剣」

# 完成への道

商品はどのようなプロセスで完成されていくのか。企業によるアイデアの創出から新商品誕生までの開発ストーリーを紹介しします。

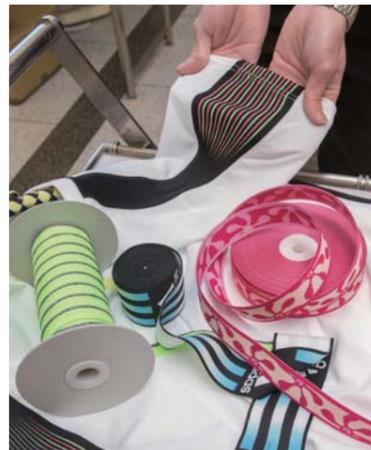
## 販路開拓にもつながる 光ファイバー内蔵テープ 井上リボン工業株式会社



井上 博之 氏

### 夜間の安全性を高める 光るテープを目指して

独自に開発したLEDユニットを用い、特殊な光ファイバーを織り込んでテープのラインそのものが光りを放つ『シムライト』。車のライトなどを浴びて光る反射型のテープとは異なり、薄暗い朝や夜間でも視認性が高く、身に付けた人の安全性を高めてくれます。



多品種の細幅織物を展開する同社

「実は、自分が車を運転しているときに、無灯で走る自転車やベットの散歩をしている人などにヒヤツとしたことがあったのが光るテープの開発のきっかけです。より認識しやすく、安全をアピールできる製品を作りたいという思いがありました」と井上氏は語ります。

当初はランニングウェアなどスポーツ業界向けの製品として開発に取りか

ったのですが、取引先のお客さまから「これまでの反射型の素材とは違う、その先のものできないか」という要望が出たのだそうです。日頃からコスト

の競争ではなく、付加価値の高いものづくりによる差別化の必要性を感じていた井上氏は、「何かインパクトのある製品の開発を」と考え、電気を通さず水に濡れても安全な光ファイバーを活用したテープの開発を立案。「ふくいの逸品創造ファンド助成金」を活用し、社内の企画及び開発設計による『シムライト』の試作がスタートしました。

### 大学や異業種と交流 明るさと利便性を追求

しかし、細幅織物を手がける同社にとって、光ファイバーの制御は管轄外でした。そこで同社は、福井大学大学院工学研究科の勝山俊雄氏に、光るテープの構想を相談します。「良いアイデアがないか尋

井上リボン工業株式会社  
http://www.telala.com/index.html  
所在地：越前市千原町2-6  
電話番号：0778-43-0810（代表）  
代表者：井上 博之 氏  
資本金：4,000万円  
従業員数：145名  
事業内容：衣料資材、ラッピング用リボン、工業資材用テープ

ねたところ、側面発光タイプの光ファイバーがあるよと教えていただきました」と振り返ります。さっそく他社が扱う同タイプの製品を取り寄せたところ、「明るいとこころでは光りがわからなかった」と語る井上氏。鮮明さを目指し、光源ユニットで発光する光ファイバーを模索します。様々な人に相談するなかで、県内でLEDライトを扱う日野電子株式会社（坂井市）を紹介された井上氏は、光ファイバーを輝かせる光源ユニットを

日野電子と共同開発することから「試作のときは電源を外から供給する形式だったので、取り外せた方がよい」ということになり、バッテリーを内蔵した着脱型の充電式光源ユニットになりました。

完成したLED光源ユニットは、重さ13グラム。コンパクトでウェアにつけてもストレスを感じず、取り外してUSBで充電でき、コネクタ部分は水洗い可能です。また、青、黄、赤の3色の光が選べ、連続点灯で3時間、点滅で6

時間持続。現在、特許を申請中です。

### 高い技術で視認性向上 従来にはない販路開拓も

もうひとつ大きな課題となつたのが、実際に『シムライト』をスポーツウェアや上衣などに装着したとき、着用した人の体の動きにそって光が途中で途切れないようにすることでした。

同社は、高い技術と長年のノウハウを駆使し、通常の糸

より数十倍も太い光ファイバーに対応。テープ生地中央部分を凹型にへこませたところから光ファイバーを通し、上から糸を渡してとめる構造を採用しました。さらに、透明な光ファイバーの下に色糸を配することで、消灯時はフラッシュカラーのラインとしてデザインの一部に、発光時は色糸が反射板の役目を果たしてより明るくラインが浮き上がるように配慮。最終的に、夜間100m先から認識することができるように高い視認性を実

現しました。昨年11月、同社は展示会で『シムライト』を発表。「非常に評判が良く、興味を持って見ていただけました。今までなかった警備会社や釣り、ランドセルメーカーなど、思わぬところからも反響をいただいています」と販路拡大に期待を寄せる井上氏。現在、約20社のお客様と商品化の話が進行中です。「どう商品化していくか、ここからもうひとつ頑張りですね」と力を込めました。



取り外し可能な軽量のLED光源ユニット



事務所内の様子。地元の女性を積極的に採用し、多くの女性が活躍しています。

その1  
福井のスゴ技 探訪

福井の基幹産業を支えている「ものづくり技術」。伝統工芸の熟練の技、こだわりを追求した技など、さまざまなジャンルから福井の「スゴ技」をご紹介します。新コーナーです。県内のものでづくりの心意気を感じてください。



「マリンバ製造」株式会社こおろぎ社

越前市で世界のトッププロも絶賛するKOROGIブランドのマリンバを製造販売する同社。音板を原木から一貫生産している唯一のメーカーであり、その音質は世界一と言われています。「私たちはひたすら楽器としての完成度を追い求めてきました。より美しい音へのあくなき挑戦が今の評価につながっています」。スティックすぎるほどの製造工程に対しても、「良い楽器を作ろうとしたら、この位やって当然」という代表取締役の齋藤氏の言葉からは、経営者の顔と併せもつ職人の気概を感じました。

①材料

山のように倉庫に積まれた音板材（中南米産ホンジュラスローズウッド）。ここで5年間をかけ自然乾燥させることで伸びやかで華やかな音が生れます。

②木取り

曲がりや節、割れを避け、原木から良材を切りだす工程。木のポテンシャルを即座に見定め、判断するには長年の経験が必要です。「誰にでもできそうであるはずではない。全工程の中で一番ハードかつ難しい仕事」と齋藤社長。

③レーティング

音板として利用できる26%の材料を1本ずつたたいてさらに5段階に選別する作業。瞬発的に音の良し悪しを判断する集中力と熟練のスキルが必要。世界一の音質たる所以がこの工程にあると齋藤社長は話します。

④調律

音板のどこを打っても一定の音程になるように、音聞きとサンディングによる微調整を繰り返します。技術者の経験と勘がものを言う集中力のいる工程です。

⑤検査

全音階の音の均質性、濁りやノイズがないかを厳しくチェックします。最後まで完璧を目指す微調整を加えます。

スゴ技の様子を動画でも公開中！

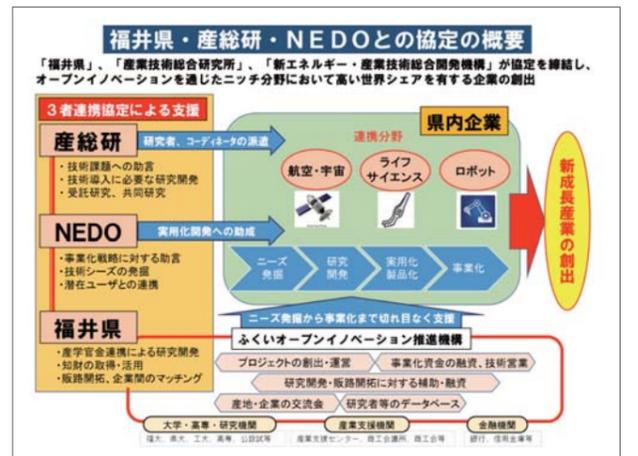
F-ACTのHP ([www.fisc.jp/fact/](http://www.fisc.jp/fact/))でチェックしてください。

福井が生み出す  
技術シーズ  
〈第1回〉

FOIP（ふくいオープンイノベーション推進機構）では、県内の研究開発のプロジェクトやイノベーション創出のために、機構内外の研究会や会議を運用・支援しています。F-ACTでは、これら各種研究会と、研究会が目指すイノベーション技術を取り上げ、イノベーションを通じた新商品・新サービス・新技術・新工法などの状況をご紹介します。これらの技術シーズを活かした新たなビジネス創出を思い描いてみてください。

福井県、産総研及びNEDOと新成長産業の創出に関する協定を締結

福井県はふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）を活用して産学官金連携による研究開発等を推進してします。この一環として、福井県は先端技術分野等において、連携して県内企業を支援するため、国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と3者連携



協定に基づく事業推進イメージ

協定を2016年3月30日に締結しました。県内の企業に対して3者が連携して支援し、航空・宇宙、ライフサイエンス及びロボットなどの先端技術分野を想定した新成長産業分野において、オープンイノベーションを通じてグローバル・ニッチトップ企業の創出等を図ります。産総研は共同研究等を通じた研究開発支援などを推進し、NEDOは技術シーズの発掘支援や実用化開発への助成などを推進します。



経済産業省立会のもとでの協定締結式

第1回災害対応ロボット技術開発研究会 開催

本県では「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき、原子力災害等に対応する国産のロボット技術を向上するため、産学官によるロボット開発を推進することとしており、2016年3月22日（火）に第一回災害対応ロボット研究会を開催しました。研究会では、県から災害調査用のドローン（自律飛行する無人機や多数のプロペラを有する航空機などを示す）開発への方

向性などが示されました。また、千葉大学の野波教授（坂井市出身）よりドローンの概要、オートパイロットによる操作支援実現のための技術と機器、産業用に必要な技術および課題、航空法などの遵守すべき法律が伝えられました。姿勢制御用センサーや新アルゴリズム、駆動用モーターや電子制御機器、軽量部材や高効率バッテリーなど、県内企業の得意技術を提案し、開発に繋げてゆくことで、将来的にロボット関連製品への展開や波及効果が期待されています。



野波教授の研究するドローン

# 苦手意識克服！ 脱ITオンチ経営

分かっているつもりで分からないことの多いIT。経営に不可欠なITを毎回違った切り口で紹介・解説します。ITに苦手意識がある方もない方も、一読いただき日々の業務にお役立てください。

## 中小企業にも必須！ 情報セキュリティ対策



### 情報セキュリティ対策の誤った認識

近年、悪意のあるプログラム（以下、「ウイルス」）や不正アクセスによる顧客の個人情報や技術情報の漏えいなど、情報セキュリティに関連するニュースが頻繁に流れています。

しかし、このようなニュースを見ても、「ウイルス対策ソフトを導入しているから大丈夫」「狙われるのは大企業。小さな会社にはお金のかかるセキュリティ対策は無縁」と考える方もいるようです。

また、小さな会社であっても、他社を攻撃したり、不正送金をするパソコンとして利用するために、ウイルスに感染させようとさまざまな手段で攻撃してきます。このような場合、セキュリティ対策が弱いと考えられる小さな会社のほうが狙われやすいのです。

### 情報セキュリティに関心を持つことから始めよう

マイナンバーの取り扱いも始まった今、中小企業であっても正しい知識を持って情報セキュリティ対策に取り組む必要が

あります。では、何から始めればいいのでしょうか。高性能なセキュリティ対策機器の導入もいいですが、まずは、情報セキュリティに関心を持ちましょう。

例えば、標的型メール<sup>(※)</sup>でウイルスに感染して機密文書漏えいというニュースがあれば、自社には標的型メールが来ていないか確認したり、USBメモリを紛失して顧客情報流出というニュースがあればUSBメモリの運用方法を考えるなどしてください。

そのような活動が自社のセキュリティ対策を徐々に高めてくれます。今やパソコンやスマホ、インターネットは、

企業経営に不可欠の便利なツールとなつていきます。これらを安全に活用するために、ぜひ情報セキュリティ対策に取り組んでください。

<sup>(※)</sup> 特定の企業・組織の機密情報を狙った電子メールによるサイバー攻撃。

## 社内のセキュリティ意識を高める研修のご案内

### 「マイナンバーの取り扱いは大丈夫？ 経営者・社員のためのセキュリティ基礎」

日時：平成28年5月11日(水) 18:00~21:00  
受講料：3,300円 (税込・テキスト料込)

《問い合わせ先》

公益財団法人ふくい産業支援センター  
創業・Eビジネス支援グループ  
電話：0776-67-7411  
メール：pckouza@fisc.jp



マイナンバー制度が始まりました。マイナンバーガイドラインには、マイナンバーを業務で利用する社員の継続教育が求められています。こうした声にお応えして、ガイドラインに沿って適切にマイナンバーを取扱うために必要な情報セキュリティの知識を学んでいただきます。セキュリティに関する技術的な内容ではなく、「うっかりミス」を防ぐための内容となっています。経営者をはじめ、労務管理を行っている方でも理解できる内容です。詳細・お申し込みは、Web (www.fisc.jp/pckouza) で。

# 「第3の目」の使い方 ～コンサルティング活用のススメ～

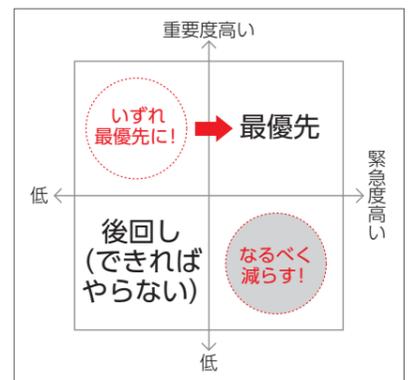
経営の改善・見直しについて、必要性を感じながらも、その実行には二の足を踏む経営者が少なくないのではないでしょうか。このコーナーでは当支援センターによる実際の企業コンサルの事例を交え、第三者による企業コンサルティングのエッセンスをお伝えします。

## 第1回：診断による課題の把握

「時間管理マトリクス」という図のようなフレームワークを目にした方も多いと思います。仕事や課題を「重要度」と「緊急度」の二つの軸で分類するものです。重要度も緊急度も高いものを最優先、両方とも低いものを後回しというのは分かりますが、問題は左上と右下の2つのどちらを優先するかです。みなさんはどちらを優先しているでしょうか？誰でも目の前の急用を優先してしまいがちですが、ここで考えるべきは時間の経過。左上の仕事・課題は、時間が経つと右上に移動します。その時になって慌てて対処するのと、そこに計画的に手を付けておくのと、どちらがいいでしょうか？変化の激しい時代だからこそ余計に、左上の課題に計画的に手を打っていく必要があります。

目先の課題・仕事に追われずに、計画的に重要課題に手を付ける秘訣が「第三者である専門家」の活用です。そのメリットは大きく3つ。

- ①外部専門家に依頼することで、左上の課題解決に向けた時間を必然的に確保することになる
- ②専門家のノウハウ活用による課題解決のスピードアップが図れる
- ③「外からの目」により、客観的かつ広い視野で課題を分析できる



福井の織物製造業を代表する老舗として創業100周年を迎えた勝山市のケイター(株)は、織物・編物製造の事業部門をケイター・テクシーノ(株)として分社しました。次の100年を乗り切るためには「時代の変化に対応できる体質と能力を持った新しい会社に生まれ変わる」必要があると考えたのです。同社は日常の業務をこなしながら、新会社のビジョンや戦略・中期計画の策定、新人事制度導入や教育制度づくり等々の抜本的な経営の見直し、体質の変革に取り組んだわけですが、その際に「第3の目」としてふくい産業支援センターの「診断・コンサルティング事業」をうまく活用していきました。

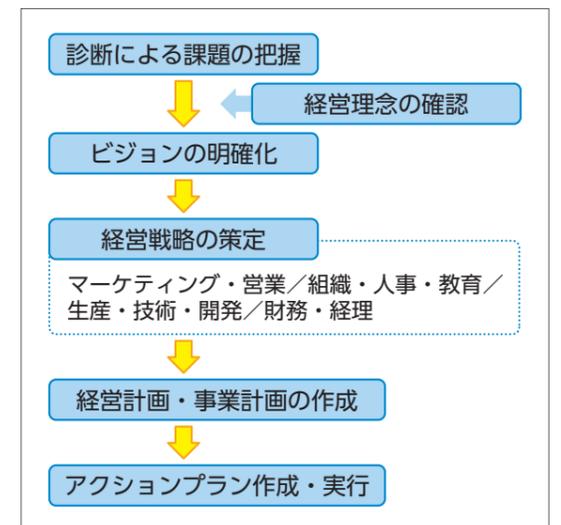
経営の見直しに取り組む際にまず欠かせないのは、現状の課題を整理する「企業診断」と「当社の存在価値、使命は何か＝経営理念」の確認です。ふくい産業支援センターの中小企業診断士が第三者の専門家として以下の内容で企業診断を実施しました。

- ①経営者ヒアリングおよび管理職ヒアリング  
⇒経営課題や部門ごとの課題認識について取りまとめ
- ②一般社員ヒアリングおよび社員の意識調査（アンケート形式）  
⇒社員の目から見た課題認識、社員のやる気や不満などの取りまとめ
- ③財務分析・生産現場の分析・営業現場の分析  
⇒数字などの経営情報から見た課題の取りまとめ
- ④業界やマーケット、経済・社会の動向など外部環境の分析  
⇒①～③も踏まえ、同社のSWOT分析<sup>(※)</sup>として取りまとめ

上司と部下の関係では話しづらいことを聞き出す、外部環境を広い視野でとらえて客観的にまとめるなどは外部専門家ならではのことでした。

- ①ヒト：真面目だが、変化の激しい時代に必要な「自分で考えて動く力」に欠ける
- ②モノ：中間加工であり、原系メーカーやアパレルに比べ付加価値が取りづらい
- ③カネ：賃加工形式であり、価格決定権が原系メーカーやアパレルに握られがち
- ④情報：技術に関する情報は豊富だが、消費者の動きなどマーケティング情報が不足

これらの企業診断、課題の洗い出しの後、いよいよ課題解決に向けて具体的な取り組みが始まります。続きは次号でのご紹介です。ご期待ください。



経営見直しの流れ

<sup>(※)</sup> 組織を、「強み (Strength)」「弱み (Weakness)」「機会 (Opportunity)」「脅威 (Threat)」の4つの軸から評価する手法のこと。

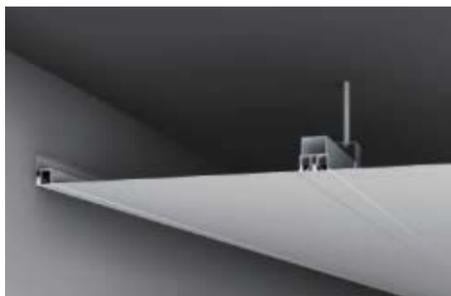


GOOD DESIGN AWARD 2015  
**BEST 100**

2015年度グッドデザイン賞 グッドデザイン・ベスト100 受賞  
膜天井 [ リフォジュール不燃膜天井 ] / フクビ化学工業株式会社



天井材は人々の頭上に重力に逆らって設置されるものであり、万が一の落下時を考えると安全性については十分考慮すべき材料にも関わらず、施工性やコスト等安全性以外の要因で材料が選定されてきました。この膜天井（リフォジュール不燃膜天井）は、不燃性でありながら、0.6kg/m<sup>2</sup>（一般的な天井材である石膏ボードと比べて 1/10 以下の重さ）と非常に軽く、万が一落下したとしても素材が柔軟で衝撃が少なく、安全性が高い仕上げ材です。また独自の小型レールで固定することによりフラット性が高く美しい天井面を実現しており、インテリア材料としても違和感なく溶け込みますようになってきました。「布のように軽くて柔らかいシートを美しく」安全性と意匠性が両立されており、これからの天井材のスタンダードになるのではないのでしょうか。



審査委員の評価

担審査委員 | 橋田 規子 加藤 麻樹 重野 貴 寺田 尚樹 樋口 孝之

地震災害時の天井落下事故への対応という点に着目し、既存天井システム材から大きく進化した製品を送り出したことを評価したい。意匠的な面からも、小割りになりがちなシステム天井に対して大きな平滑面を実現することができ、大きな進化といえる。幕天井の特性を生かし、天井照明を透かすなどの応用も考えられると思う。天井設備機器との取り合いや吸音性能の付加など今後の展開に期待したい。

DATA

- 受賞対象名 膜天井 [ リフォジュール不燃膜天井 ]
- 受賞企業 フクビ化学工業株式会社
- 受賞番号 15G080773
- プロデューサー フクビ化学工業株式会社 開発本部 辻 修
- ディレクター フクビ化学工業株式会社 開発本部 商品開発部 柏 直樹
- デザイナー フクビ化学工業株式会社 開発本部 商品開発部 川又 周太

第7回  
福井県のグッドデザインを紹介  
**グッドデザインシンキング**

第18回

**飛躍する経営者たち**

福井県ゆかりのアグレッシブな経営者取材。企業を成長へと導く秘訣に迫ります。

吉村 明高氏

●株式会社シアターハウス 代表取締役



**売上をもたらす好循環を作る  
感謝とサービスと自然体経営**

2001年創業のスクリーンメーカー、株式会社シアターハウス。製造から販売、サポートまで顧客の細かなオーダーに応え、これまで15年間、着実に業績を伸ばし続けています。従業員わずか8名の企業にして、前年度は約3.2億円を売り上げるほどの勢い。その躍進の陰には吉村氏の会社作り、経営への思いと考えがありました。経営に良い循環をもたらした秘訣を吉村氏に話していただきました。

株式会社シアターハウス  
HP : <https://theaterhouse.co.jp/>  
所在地 : 福井市天池町32-6  
資本金 : 1,000万円

従業員数 : 8名  
事業内容 : 映写スクリーンの開発、製造、販売、サポート等

自身が働きたい環境に  
従業員との感謝の連鎖

創業から約2年に一人のベイスで従業員を増やし、これまでの15年間に一人しか会社を辞めていないことを吉村氏は嬉しそうに話します。第一に社員が快適に働ける環境作りを考えていると同氏。その根底には従業員に対しての「感謝」があるといいます。「自分の給料を稼いでくれるのは社員たち。そう考えることは社員たち。そう考えることで還元しようと思っ

ユニークな取り組みは他にも。これまで朝礼を一度もしたことがない代わり、毎日午前と午後の2回、全員が集まっている。お茶の時間を設けています。「みんなで顔を合わせてムダ話をするだけ」と笑うものの、社員とのコミニケーションを大切にしている。吉村氏の姿勢が見て取れます。「社長の仕事でどう考え

異次元のサービスで売上増心の余裕が好循環を生む

従業員への思いと同様、顧客に対するサービスの精神も旺盛です。同社のスクリーンは10年保証。期間内の修理費・送料は同社負担。雷で故障した場合でも無償対応と同業他社を圧倒します。「大画面好きの同好会で、スクリーン担当の役をしているような感覚ですね。仲間としてできる限りのことを提供したい。10年保証なら安心でしょ？」と吉村氏。実際の安心感が売上にも反映しているようです。



職人の手作業により、1cm単位でのオーダーが可能。

「きれいなことを言ってもビジネスである以上、最後は数字」と同氏。しかし経営に対して吉村氏は極力自然体を心掛けています。「年間の売上目標を掲げたことがない」というのもその一つ。目標を追いすぎることがない、無理に力んでしまうことを避けるためと言います。「ゴルフと同じで飛ばすぞーっと力むと空振りする。仕事も素振りのつもり、自然体で事に当たるようにしています。それもこれも利益を出すことが大前提ですね。数字が伸びてくれば、余裕のある考えができるようになります。」

余裕が生んだアイデアを社内外の満足につなげ、売上へと。15年連続の緩やかな増収増益が好循環を物語っています。

## ふくいの老舗企業チャレンジ応援助成金の募集を行います ～老舗企業のチャレンジを応援します～

ふくい産業支援センターでは、「ふくいの老舗企業チャレンジ応援助成金」事業を行います。県内小規模老舗企業の事業継続や地域に親しまれた商品、サービスの次世代への保存を図るため、老舗企業の新たなチャレンジを応援。和菓子店、飲食店、工芸品加工小売店などの老舗企業の事業継続に必要な取組み（店舗改装・設備導入等）の経費を助成します。

**申請の受付期間** 平成28年4月11日(月)～平成28年5月20日(金) 17:00必着

### 1 募集概要

助成対象者	以下の要件を全て満たす方 ①福井県内に主たる事業所を有する小規模企業者。ただし、みなし大企業、フランチャイズ契約を締結して事業を行っている方は除きます。 ②創業から30年以上を経過しており、主に一般消費者に対して商品・サービスを提供する方。 ③自社独自の長く伝わる技術等を用いて商品の製造・加工・販売、またはサービスの提供を行っており、かつその技術に希少性がある方。 ④商工会・商工会議所と連携して、今後5年間の事業計画を作成する方。
助成率および助成限度額	助成率 2 / 3 助成限度額 300万円

### 2 取り組み例

- ①和菓子製造企業が消費者向け小売店舗を設置、新たにBtoC取引を開始。
- ②酒蔵が製造蔵の一部を改修し、観光客等向けの試飲・販売スペースを設置。

■本件に関するお問い合わせ先■

公益財団法人 ふくい産業支援センター ふるさと産業支援部 担当：追別・岩崎  
電話：0776-67-7406 / e-mail：shikin-g@fisc.jp

“外国人労働者100万人時代” 到来！  
外国人社員と円滑なコミュニケーションを取るには？  
「職場のグローバル化」の課題と対応策を考える

## 「グローバル人材受入体制準備セミナー」

先着50名  
受講無料

**日時** 平成28年5月11日(水) 13:30～16:30  
**会場** 福井県中小企業産業大学校 (福井市下六条町16-15)

#### 【主な対象者】

- 職種、役職、業種を問わず、どなたでも参加いただけます。  
特に、下記に該当する方にとっては必聴の基礎講座です。
- ①外国人社員の採用を予定している企業…採用上の留意点についても学んでいただけます。
  - ②外国人社員を採用している企業でコミュニケーションの取り方に苦労されている方
  - ③多様な人材を活かす異文化マネジメントを学びたい方

#### 【講師・内容】

講師：IC異文化コーチング株式会社 代表取締役 ケンパー・マティアス氏  
(セミナーは日本語で進めます)  
内容：■外国人採用の目的と意義 ■日本文化への適応：その課題と支援策  
■日本人社員の課題と教育 ■異文化マネジメントの基本  
詳細は、ホームページ (http://www.fisc.jp/fiib/) をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先・受講お申し込み先■

公益財団法人 ふくい産業支援センター 人材育成部(中小企業産業大学校) 担当：栗井  
電話：0776-41-3775 / e-mail：manabi@fisc.jp

No.07

## 今月の社是

### 「和協一心」

取材先で編集者の目に留まった「社是」「社訓」「社訓」「経営理念」をご紹介するコーナー。そこからは企業の考えはもちろん、その会社の“色”や“空気感”まで伝わってくる可能性があります。

社 是  
和協一心

松文産業株式会社

1890年の創業から、撚糸技術を核に勝山の地で繊維産業をリードし続けてきた松文産業株式会社。高速レピア織機のいち早い導入や、エアバック素材をはじめとする産業資材への進出など、その時代に合わせた転換を経て現在に至ります。最近では、面状発熱体や、太陽光で発電する布地の開発に携わるなど、他企業との連携で新しい挑戦を継続しています。

そんな同社に掲げられている「和協一心」の文字。与えられた職分の責任を果たすこと、調和を図り、お互いの心を通じた連帯感を持ち実践すること”の意味の通り、新商品開発にあたる姿はまさに社是が表すそのものです。事業への想いが人をつくり、企業をつくる。社是に込められたマインドが110年の永続に繋がっています。

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

## 企業情報メール便

販路開拓のチャンス!  
本誌にチラシを同封できます



本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約2,200社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか?

### ●料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	8,400円
A4判超～A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	12,600円
A4判以下のパンフレット(10ページ程度まで) ※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。	16,800円

●次回実施号  
VOL.19 6月25日発行予定  
チラシ提出締切日: 6月20日(月)  
チラシ2,200部をご提出  
(持参または配送) ください。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。  
1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT編集室  
TEL: 0776-67-7414 e-mail: kouhou-g@fisc.jp

## 福井県からのお知らせ

### 自動車税の納期限は5月31日(火)です。

#### 納期限までに 納めましょう!!

身体に障害のある方が所有する自動車等について、自動車税が減免になる場合があります。  
その場合には納期限までに手続きを済ませてください。



### コンビニでも納税できます!!

これらのコンビニであれば、原則として24時間  
全国どこでも土曜・日曜・祝日でも納付が可能です。



#### 【利用できるコンビニ等】

エブリワン、くらしハウス、ココストア、コミュニティ・ストア、サークルK、サンクス、スリーエイト、スリーエフ、生活彩家、セブオン、セブンイレブン、デイリーヤマザキ、ニューヤマザキデイリーストア、ファミリーマート、ポプラ、ミニストップ、ヤマザキスペシャルパートナーショップ、ヤマザキデイリーストア、ローソン、MMK設置店\*  
\*MMK(メルチ・メディア・キオスク)設置店については、下記のアドレスのHPにて、ご確認ください。  
<http://www.shinkin-sis.co.jp/mmk/mmklist.html>

<お問い合わせ先> 福井県税事務所 TEL: 0776-21-8274  
 嶺南振興局税務部 TEL: 0770-56-2223



本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>  
総務部 TEL:0776-67-7414/FAX:0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp  
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

## 皆様の声をお聞かせ下さい!

「〇〇が面白かった、ためになった」、「△△をもう少し□□にしたらどうか」、「●●のテーマについて紹介して欲しい」、「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

## 編集後記

いつの時代でも、最後に生き残るのは最も強い者でもなく、最も大きい者でもなく、周りの変化に合わせて対応できた者。そんな言葉を今回の老舗企業への取材の中で何度か思い出していました。世の移り変わりの中で、一つの企業を永続させることは並大抵のことではないはず。インタビューの中で、各企業の社長様からは受け継いだその歴史へのプレッシャーの言葉もあったと同時に、どこかにそれを達観したような柔らかな空気感も併せ持っているようにも感じられました。柔軟な経営は、社長の人柄とも繋がる部分があるのかも知れません。

さて、今回のF-ACTは新年度ということで、新連載コーナーが目白押しです。県内最新の技術開発への動き、当支援センターのコンサルティングレポート、IT経営に関する情報など、今後も読者企業様の経営に役立つ情報発信を努めて参ります。今後もお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

## 新聞記事から集めた 県内企業の 新商品・新規事業

■収集期間: 2016年2月1日~2016年3月31日

■収集対象: 福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

【食料品・飲料】	
県産食材にこだわったしょうゆこうじ漬けのシリーズを開発。武生信用金庫と県よろず支援拠点が共同で支援。味付けやパッケージデザインについて試行錯誤を重ね、県観光連盟の優良観光土産品新商品部門で優秀賞に選ばれるなど高評価を得ている。	神久商店(越前市)
新感覚の洋菓子「もちもち焼きいも饅頭」を開発。餡の部分をとみつ金時だけで仕込んだ饅頭感覚の洋菓子で、とみつ金時の甘さとココを最大限に引き出した。福井国体や北陸新幹線の福井県内延伸に向け、土産用「バイクドまんじゅうスイーツポテト(仮称)」の開発を進める。	宇都宮正二商店(福井市) 新珠食品(越前市)
オール福井産のチーズ「SAKKAS LATTE(サッカス・ラッテ)」を共同開発。酒米から出た米粉と黒糖酒造(永平寺町)の酒かす、自然環境で育ったわらを混ぜた飼料を美浜町の牧場の牛に食べさせた結果、乳質が向上したという。	越前酒乃店はやし(越前市) 手作りチーズ工房・ヴェリタ(小浜市)
若狭町、若狭路女将の会「わかさ会」と共同で梅酒「紅姫」を開発。しっかりとした甘みとフルーティーな香りがあり、美と健康を思わせるコラーゲンも入っているのが特徴。	エコファームみかた(若狭町)
【繊維/衣服】	
牧草などを円筒状に固めた家畜の飼料「牧草ロール」が崩れないように周囲を巻く綿製ネット「e-コットンネット」を開発。天然素材のため、牛が食べても害がなく、ネットを巻いたまま牧草ロールを解体して牛に与えることも可能。	岡本レース(坂井市)
【眼鏡】	
ウェアラブル端末用の眼鏡枠を米企業と共同開発。需要が高まっている欧米の医療現場に対応し、医師が手術中、手元が見やすいように端末がやや下側に見えるデザインに。	三工光学(鯖江市)
【機械】	
ホンダと共同で、自動車の車体部品のレーザー切断技術を開発。高エネルギー出力レーザーと、レーザーを素早く動かす機構、鋼板を高速で送るベルトコンベヤーの技術がポイント。鋼材の切断をカメラで確認する技術も。	エイチアンドエフ(あわら市)
【伝統工芸】	
円谷プロダクション(東京都)と組み、腕時計の文字盤に蒔絵でウルトラマンの胸の模様を施した腕時計を発売。特撮ヒーロー番組「ウルトラマン」の放送開始50周年に合わせた企画で、伊勢丹新宿本店(東京都)などで数量限定販売する。	サンユー(鯖江市)
ウルトラマン、怪獣をモチーフにしたデザインをあしらった漆塗りの箸と椀を制作。箸、わんとも越前漆器の技術を生かし、天然木に白漆を塗って仕上げた商品で、ウルトラマンを知らない人にもおしゃべりに感じてもらえるよう洗練されたデザインが特徴。	土直漆器(鯖江市)
手書き和紙を使ったフォトフレームを開発、商品化。中に収める写真も越前和紙に転写したものを使用。LEDを内蔵しており、和紙を透過する光がフレーム、写真とともに幻想的に照らしてモダンな演出が楽しめる。	ハートプレーン(あわら市)
【その他の製造業】	
段ボールを組み立てて設置する災害対策用品を開発。パーテーションと更衣室は簡易トイレの設置や授乳室として利用が可能。簡易ベッド兼テーブルも含め、避難場所の備蓄用として自治体や事業所などからの需要を見込む。	垣内産業(越前市)
体臭のタイプを原因物質や年代などで分類し、それぞれに対応した洗剤を商品化。20代、30代、40代、それ以上の年齢の人の体臭に対応した4種類と、足の臭いやワキガ臭など用4種類をそろえた。	ベネフィットーイオン(福井市)
福井県の恐竜キャラクターをかたどった工用車バリエーション「じゅらちっくスタンド」を製作。安全性に優れた樹脂パイプとキャラクターの恐竜を組み合わせて、目や口に反射シールを採用して夜も見やすいのが特徴。	八木熊(福井市)
【商業/サービス/飲食】	
不動産事業部「ミニミニFC福井店」の新規事業として、JR福井駅近くのビル1階をリノベーションし、コワーキングスペース「Rink{s}」をオープンした。	エルディ(福井市)
婚約指輪選びから思い出の写真・動画制作、結婚証明書までをパッケージにしたサービスを開始。好みのデザインで指輪を制作後、プロポーズの様子や思い出の場所で写真家出張撮影し、お気に入りオリジナルの結婚証明書にプリントする。	ジュエリー土屋(福井市) ドット・グラフ(福井市) 山岸和紙店(越前市)
4月1日から福井県内外の量販店やコンビニで利用できる2種類の電子マネー機能を搭載したカード「JURACA(ジュラカ)」を発行。「nanaco」、「QUICPay」の2つの電子マネーを搭載するほか、福井に特化したサービスも盛り込んだ。	福井銀行(福井市) 福井新聞社(福井市)
スマートフォン画面でレシートを見られる電子レシートサービス「スマートレシート」を、西日本で初めてスタート。月ごとや年間の金額も自動的に集計し、家計簿としての機能も併せ持っているのが特徴。	ママストア(小浜市)
アロマセラピーのサロンや講座を開いている同社代表が、敦賀市の特産品、東浦みかんの皮を活用したエッセンシャルオイルなど香りの新シリーズ「敦賀の水辺」を開発。また、3種類の香りが楽しめるハーブティも同時に商品化した。	Relation(敦賀市)
【情報産業】	
パソコンで免税手続きが簡単にできるシステム「さくら免税」を開発。個店の場合、1人あたり10~15分かかっていた書類作成時間を2~3分に短縮。共同カウンターの場合は、店ごとの専用書類が自動で作成されるなどの効果が期待できる。	データシステム(坂井市)

あなたの夢を応援します！

ふくしん

# 新事業（創業）

# 支援資金

## 福井信用金庫

### 《商品概要》

- ご利用いただける方
 

当金庫の営業地区内で新たな事業を6ヶ月以内に開始するか、または開始してから3年以内の法人または個人事業者  
 運転資金、設備資金  
 500万円以内（設備資金は当該所要資金の100%まで）  
 運転資金（7年以内）、設備資金（10年以内）  
 証書貸付  
 毎月元金均等返済または毎月元金均等返済（元金据置2年以内）  
**2.925%**  
 変動金利（当金庫新長期プライムレートに連動する即時変動金利型）ご融資利率の見直し基準日は新長期プライムレートの変更日とし、前回基準日（借入後最初の変更の場合は借入日）における基準金利と変更日の基準金利の変動幅と同じ幅でご融資利率を変動します。  
 経営者以外の第三者保証人は原則として不要です。  
 ・法人の場合・・・代表取締役  
 ・個人事業者の場合・・・共同経営者の方は保証人となっていただきます。  
 ※「経営者保証に関するガイドライン」（平成25年12月5日経営者保証に関するガイドライン研究会）に則り、誠実に対応するよう努めます。
- 保証人
 

原則不要です。但し、申込内容により必要となる場合があります。  
 ・契約締結時手数料 10,800円  
 ・繰上完済および一部繰上返済 5,400円  
 ・条件変更 32,400円
- 担保
- 手数料
- その他
 

※お申込みに際しては、所定の審査をさせていただきます。結果によっては、ご希望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。  
 ※現在の融資利率やご返済の試算につきましては、当金庫の本支店までお問い合わせ下さい。

（平成28年4月1日現在）

店頭にて説明書をご用意しております。

